

令和6年度

**教育委員会の事務の管理及び執行の状況  
の点検及び評価に関する報告書【概要版】**

(令和5年度対象)

令和6年9月

**香川県教育委員会**

## 目 次

1 学力の育成	4
2 心の育成	8
3 体の育成	12
4 郷土を愛し、郷土を支える人材の育成	14
5 安全・安心で、魅力あふれる学校づくり	17
6 家庭や地域での学びの環境づくり	21
7 スポーツの振興	23
8 文化資産の継承・充実と地域づくりへの積極的な活用	25
「香川県教育基本計画」及び「『人生 100 年時代のフロンティア県・香川』実現計画」に掲げている数値目標に対する現状と評価	26

### 報告書の公表

(参考) 令和5年度に策定した計画(プラン)

## 目的と制度の概要

効果的な教育行政の推進に資するとともに、県民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が、毎年、その権限に属する「事務の管理及び執行の状況」について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表する。

## 点検・評価の方法

- 1 令和5年度における教育委員会の権限に属する「事務の管理及び執行の状況」について、「香川県教育基本計画」及び「『人生 100 年時代のフロンティア県・香川』実現計画」で掲げる数値目標の進捗状況を踏まえて、主な取組みの実施状況及び成果を記載することにより、点検・評価を実施した。

## 「香川県教育基本計画」について

本県教育の進むべき方向とめざすべき目標、そして、それらを実現するための総合的な教育施策を明らかにした本県における教育振興のための施策に関する基本的な計画で、計画期間は令和3年度から令和7年度の5年間。なお、この計画は「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画」の教育・スポーツに関する分野別計画である。

「郷土を愛し 夢と志を持って 自ら学び 歩み続ける人づくり～自立・協働・創造を支える香川の教育～」を基本理念に掲げ、これを実現するため、次の7つの重点項目を定め、教育施策を推進する。

### 〔重点項目〕

1. 学力の育成
2. 心の育成
3. 体の育成
4. 郷土を愛し、郷土を支える人材の育成
5. 安全・安心で、魅力あふれる学校づくり
6. 家庭や地域での学びの環境づくり
7. スポーツの振興

## 「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画」について

本県の進むべき基本的方向とそれを実現するための方策を明らかにした県政運営の基本指針で、計画期間は令和3年度から令和7年度の5年間。「人生100年時代のフロンティア県」の実現を基本目標に掲げ、安全・安心で住みたくなる香川をつくる「県民100万人計画」、活力に満ち挑戦できる香川をつくる「デジタル田園都市100計画」、多くの人が行き交い訪れたい香川「にぎわい100計画」の3つの基本方針のもと、みんなで子育て・挑戦できる・訪れたい香川をめざしている。

2 点検・評価を行うに当たっては、令和6年7月17日、22日、23日に地域教育行政懇談会を開催し、本県の教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図った。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 数値目標に対する評価について

「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画」に掲げる施策ごとの数値目標の行政評価と同様の手法により数値目標に対する評価を行っている。

（例：令和5年度実績値（3/5年間））

- A：達成率が60%以上（概ね順調に推移した。）
- B：達成率が30%以上60%未満（順調ではないが一定程度進展した。）
- C：達成率が0%超30%未満（順調ではないが少しは進展した。）
- D：達成率が0%以下（進展していない。）
- ：統計の調査年等の関係で評価ができないもの。

## 点検・評価の結果

### 施策体系

本県教育の基本理念「郷土を愛し 夢と志を持って 自ら学び 歩み続ける人づくり～自立・協働・創造を支える香川の教育～」を実現するため、各重点項目の基本的方向を踏まえ、計画的・総合的かつ積極的に取組みを展開する。

重点項目	基本的方向	取組みの内容
<b>1</b> 学力の育成	①確かな学力の育成と個に応じた教育の推進	1 確かな学力の育成 2 読解力の育成 3 ICTを活用した教育の推進 4 小・中・高等学校を通じた外国語教育の推進 5 幼児期の教育の推進 6 特別支援教育の推進 7 校種間連携の推進
<b>2</b> 心の育成	①豊かな心、多様性を尊重する心の育成	1 道徳教育の充実 2 自己肯定感・自己有用感の育成 3 豊かな感性や情操の育成 4 人権・同和教育の推進
	②共感的理解に基づく生徒指導の充実	1 いじめや暴力の未然防止 2 不登校児童生徒への支援 3 インターネットの適正利用とネット・ゲーム依存予防対策の推進
<b>3</b> 体の育成	①未来を支える健やかな体づくりの推進	1 体力づくりの推進 2 健康教育の推進 3 食育の推進
<b>4</b> 郷土を愛し、郷土を支える人材の育成	①郷土を支える教育の推進	1 郷土に誇りを持つ教育の推進 2 社会に参画する力の育成 3 キャリア教育の推進
	②地域を担うグローバル人材の育成	1 グローバル人材の育成 2 課題解決能力の育成
<b>5</b> 安全・安心で、魅力あふれる学校づくり	①安全で安心できる学校づくり	1 学校の安全・安心の強化 2 学校施設等の整備、充実 3 学びのセーフティネットの構築
	②教職員の資質・能力の向上	1 優れた教職員の確保と資質・能力の向上 2 学校における働き方改革の推進
	③信頼され魅力ある学校づくり	1 地域と協働する学校づくりの推進 2 学校の特色化・魅力化の推進
<b>6</b> 家庭や地域での学びの環境づくり	①家庭・地域の教育力の向上	1 家庭の教育力の向上 2 地域の教育力の向上
	②いつでも学べる環境づくり	1 子どもが読書に親しめる環境づくり 2 生涯学べる環境づくり
<b>7</b> スポーツの振興	①多様なスポーツ環境づくり	1 生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくり
	②スポーツ競技力の向上	1 トップアスリートをめざし、競技力を高めることができる環境づくり

『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画」に掲げる施策

<b>8</b> 文化資源の継承・充実と地域づくりへの積極的な活用（施策80 文化芸術による地域づくり）
--

## 1 確かな学力の育成

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導の充実

- ・ 小・中学校の全学年で 35 人学級を実施
- ・ 小学校高学年において、3～4教科、週7～8時間程度、専科担当教員による専門的な指導を実施

### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画 策定時(R2)	R5年度 実績	評価	R7年度 目標
1	「授業の内容がよく分かる／だいたい分かる」と回答した児童生徒の割合	%	小学校5年生 73.1 中学校2年生 59.5	小学校5年生 68.5 中学校2年生 55.5	D	小学生 77 中学生 65
2	全国学力・学習状況調査における正答率 40%未満の児童生徒の割合の全国平均との差	pt	小学校6年生 -1.8 中学校3年生 0.0 (R元年度)	小学校6年生 -1.1 中学校3年生 -0.5	C	小学生 -2.4 中学生 -0.6

### 評価・課題

- 「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を目指した授業改善を推進したり、総合的な学習の時間など探究的な学びを推進したりすることで、児童生徒の学習意欲を高めていく必要がある。

### 今後の展開

- 「香川型指導体制」の成果や課題等を検証し、子ども一人ひとりの成長やつまずきを理解し、個々の興味・関心に応じたきめ細かな指導・支援や、子ども同士の話し合いの活性化などに一層取り組むために、小・中学校全学年での 35 人学級の実施の継続や小学校高学年における教科担任制の拡充を図っていく。

## 2 読解力の育成

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 学校における読書活動の推進

- ・ 令和5年度から、県内の児童がオンラインを通じて、好きな本を紹介し合うオンラインミーティングを実施

### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画 策定時(R2)	R5年度 実績	評価	R7年度 目標
3	「読書は好きですか」との質問に、「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合	%	小学校5年生 79.7 中学校2年生 74.0	小学校5年生 74.9 中学校2年生 66.0	D	小学校5年生 82 中学校2年生 75

### 評価・課題

- 活字離れが危惧される中、読書習慣が身に付くような読書活動の工夫、改善を図る必要がある。

### 今後の展開

- 令和3年度に選定した推薦図書「香川の子どもたちに贈る 100冊」について、児童生徒相互にお気に入りの本を紹介・推薦し合ったり、書評や本の帯等を募集したりするなど読書活動を一層推進していく。

### 3 ICTを活用した教育の推進

#### 令和5年度の主な取組み・実績

##### 情報活用能力の育成

- ・ 教員がICTを有効活用して指導する能力を向上させるため、タブレット端末活用のための研修や授業支援アプリの研修などを実施
- ・ 県立学校教員のスキルアップを図るため、情報Iプログラミング研修会を実施（8月）

#### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
4	授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合	%	小学校 68.8 中学校 59.2 高校 85.4 特別支援学校 70.5 (R元年度)	小学校 74.4 中学校 63.3 高校 84.2 特別支援学校 82.6 (R4年度)	C	小学校 100 中学校 100 高校 100 特別支援学校 100

#### 評価・課題

- ICT活用教育のさらなる推進のためには、学校におけるICTの日常的な活用が不可欠であり、教員のICT活用指導力の向上と、学校ICT環境の継続的な整備が必要である。

#### 今後の展開

- 指導主事等を派遣した校内研修の支援や、情報教育に関する研修講座増設により、教員のICT活用指導力の向上を図る。

### 4 小・中・高等学校を通じた外国語教育の推進

#### 令和5年度の主な取組み・実績

##### コミュニケーション能力を育成する英語教育の推進

- ・ 生徒の英語技能「聞くこと」「話すこと」を重点的に育成するため、中学校2年生に対して、1人1台端末を活用し、英会話機能を有するAIツールを授業に導入することで、生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握し、指導方法を改善

#### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
5	「英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか」との質問に「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	%	中学校 75.8 (R元年度)	中学校 84.0	A	中学校 80

#### 評価・課題

- 小・中学校で、ネイティブ・スピーカーを活用したり、外国語に堪能な地域の人々の協力を得たりしている市町の割合は100%であり、英語でのコミュニケーションを図る資質・能力の育成が図られている。

#### 今後の展開

- 中学校では、小学校外国語科での学びや新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「聞く・読む・話す・書く」の言語活動を通して、英語による日常会話や簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を育てる学習指導を推進する。

## 5 幼児期の教育の推進

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 教員研修の充実

- ・ 幼児期の教育に関する内容、幼稚園等の運営・管理、保育技術等に関する研究を深め、幼児期の教育の振興・充実を図るため、幼児教育香川県研究協議会（実践発表・協議、県からの提案、講演等）を実施

### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
6	幼小の円滑な接続に向け、接続期のカリキュラムを検討する研修会に参加した幼稚園の割合	%	20.5	67.6	A	80

### 評価・課題

- 子ども・子育て支援新制度に基づき、幼稚園・保育所・認定こども園が連携を図りながら、ともに乳幼児期の教育の質の向上を図っていく体制を構築していく必要がある。

### 今後の展開

- 令和2年2月に策定した「香川県就学前教育振興指針」に基づき、研修会や研究会、園長会等を通じて、その趣旨を説明し、広く県内に啓発していくとともに、希望する就学前教育施設に、幼児教育スーパーバイザー等を派遣し、乳幼児期にふさわしい教育・保育の在り方について引き続き指導・助言を行っていく。

## 6 特別支援教育の推進

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 「多様な学びの場」での教育の充実

- ・ 管理職がリーダーシップを発揮し、校内支援体制の強化や通常の学級に在籍する発達障害等のある児童生徒に係る個別の指導計画の作成・活用を推進するため、校内委員会の運営の在り方等を示した「チーム学校特別支援指導力UPマニュアル（管理職向け）」を作成

### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
7	通常の学級に在籍する、障害のある児童生徒などのうち、特別な支援を必要とする児童生徒※の中で、「個別の指導計画」が作成されている割合 ※通級による指導対象者を除く	%	小学校 37.3 中学校 11.0	小学校 47.6 中学校 15.3	C	小学校 60 中学校 50

### 評価・課題

- 通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の「個別の指導計画」の作成率は、小学校、中学校ともに上昇しているものの、微増であることから、その必要性や有効性、作成方法を周知し、作成率の向上を図る必要がある。

### 今後の展開

- 「チーム学校特別支援指導力UPマニュアル（管理職向け）」のコンテンツの充実を図る。

## 7 校種間連携の推進

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 小学校、中学校、高等学校の連携の推進

- 各県立高校の特色のある行事のなかで、異校種の児童生徒を対象とした交流事業を実施

#### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
8	異校種の児童生徒を対象とした交流事業を行っている県立高校の割合	%	24.1	55.2	A	50

#### 評価・課題

- コロナ禍の教訓を生かしながら、学校行事の中で異校種の児童生徒を対象とした交流事業を実施することができた。

#### 今後の展開

- 異校種の児童生徒を対象とした交流事業の実施について、実施方法の検討や見直しをすることで交流事業の拡大を図る。



## 1 道徳教育の充実

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 全教職員で取り組む道徳科の指導の充実

- 道徳教育の指導力向上に向けた教員研修を実施（全4回）したほか、道徳科（道徳の時間）の充実等に関する実践研究を進める研究推進校を指定し、県内の小・中学校へ研究成果を普及（指定校2校、道徳通信の発行3回）

#### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
9	「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」との質問に、「思う」と回答した児童生徒の割合	%	小学校5年生 77.2 中学校2年生 76.1	小学校5年生 75.5 中学校2年生 74.9	D	現状を上回る水準

#### 評価・課題

- 道徳の教科化を踏まえた動きや研究推進校の取組み等を「道徳通信かがわ」として、小・中学校に配信し、「議論する道徳」の好事例をさらに広めていくことが課題である。

#### 今後の展開

- 学校の教育活動全体を通じた道徳教育を進めるとともに、道徳の授業を公開したり、保護者や地域の人々の積極的な参加や協力を得たりするなど、幼稚園、認定こども園、保育所、小・中学校や、家庭、地域との連携を図りながら、道徳教育の一層の充実を図る。

## 2 自己肯定感・自己有用感の育成

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 児童生徒によるボランティア活動の推進

- 美化活動、交流活動、社会福祉関連活動など、学校ごとに特色あるさまざまなボランティア活動を実施

#### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
10	「自分には、よいところがあると思いますか。」との質問に、「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答した児童生徒の割合	%	小学校5年生 71.2 中学校2年生 66.4	小学校5年生 69.6 中学校2年生 70.6	C	小学校5年生 72 中学校2年生 67

#### 評価・課題

- 自分には、よいところがあると肯定的に回答した児童生徒の割合は、前年度と比べ、小学校で0.9pt向上、中学校では1.7pt向上しているが、中学校では教育基本計画策定時と比べ4.2pt増とコロナ禍前の水準を上回る一方、小学校では1.6pt減とコロナ禍前の水準には回復していない。

#### 今後の展開

- 小・中学校におけるボランティア活動については、今後も内容の充実を図るとともに、地域の人々の参加や協力を得る活動の一層の推進などもあわせて、地域全体で子どもを育てる機運を一層高めていく。

### 3 豊かな感性や情操の育成

#### 令和5年度の主な取組み・実績

##### 学校における読書活動の推進【再掲】

- ・ 学校図書館にかかわる司書教諭の資質向上のための研修の実施、及び学校司書に対する研修の促進

##### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
11	「本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」との質問に、月に1～3回以上と回答した児童生徒の割合	%	小学校5年生 71.9 中学校2年生 33.1	小学校5年生 65.0 中学校2年生 31.1	D	小学校5年生 76 中学校2年生 38

##### 評価・課題

- 小・中学校では、全校生で一斉読書活動に取り組んだり、図書の読み聞かせや推薦図書コーナーを設置したりするなど、読書推進活動への取組みが見られたものの、コロナ禍をきっかけに、学校における読み聞かせの機会等が減少し、読書への意識が高まらなかったことや、地域の図書館に行くことを控えたことなどにより、読書離れの状況が続いており、月に1～3回以上学校図書館・学校図書室や地域の図書館に行くと回答した小学生の割合は減少し続けている。

##### 今後の展開

- 豊かな感受性や表現力、創造性を育むために、各学校段階において、読書活動の充実を図ることが必要であり、読書への関心・意欲を高めるためには、学校図書館の計画的な活用、一斉読書などに地道に取り組む。

### 4 人権・同和教育の推進

#### 令和5年度の主な取組み・実績

##### 人権や多様性を尊重する意欲や態度の育成

- ・ 人権・同和教育の理念と手法を継承するため、若年教職員の指導力の向上をめざした「人権・同和教育若年教職員パワーアップ研修会」を実施(7月、8月、12月)

##### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
12	人権・同和教育教職員ハンドブックを活用して校内研修を行った学校の割合	%	50.8	88.3	A	100

##### 評価・課題

- 「人権・同和教育若年教職員パワーアップ研修会」には、希望する小・中学校・高校・特別支援学校の教職員が参加し、指導スキル向上のためのワークショップや模擬授業等を実施し、各校や地域における人権・同和教育の推進者としての自覚を高めることができた。

##### 今後の展開

- 令和3年度、全教職員に配付した人権・同和教育教職員ハンドブックの活用促進に向けて、研修会や出前講座等で実際に活用したり、活用方法を示したりすることで、ハンドブック活用の充実を図る。

## 1 いじめや暴力の未然防止

## 令和5年度の主な取組み・実績

## 人間関係づくり、自己指導能力の育成

- ・ いじめをなくす機運を高めるために、各学校の児童会・生徒会が中心となって行う「いじめゼロ強調月間」(11月)の支援や児童生徒の自発的・自治的活動を促進するリーダーを育てる「いじめゼロ子どもサミット実行委員養成セミナー」(8月)を実施

## 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
13	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」との質問に、「思う」と回答した児童生徒の割合	%	小学校5年生 86.9 中学校2年生 82.5	小学校5年生 81.0 中学校2年生 79.6	D	現状を上回る水準

## 評価・課題

- 直近の調査結果である令和4年度の問題行動等のうち、暴力行為の状況については、1,000人当たりの発件数は7.5件だった。いじめの状況については、1,000人当たりのいじめ認知件数は38.5件で、全国平均53.3件を下回っており、認知の感度を高めていく必要がある。

## 今後の展開

- 児童生徒がいじめの問題を自分のこととして捉え、いじめの問題に正面から向き合い、適切に対応できるよう児童生徒の自治的活動を引き続き支援するとともに、関係機関と連携した出前授業を実施するなど、児童生徒の規範意識や道徳性・社会性の育成に努める。

## 2 不登校児童生徒への支援

## 令和5年度の主な取組み・実績

## 不登校、高校中退対策の充実

- ・ 緊急避難や休養を求める不登校傾向の児童生徒にとっての居場所や個別最適な学習機会の確保に向け、小学校2校、中学校2校の研究指定校に「校内サポートルーム」を開設

## 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
14	「学校に行くのは楽しいと思う。」「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答した児童生徒の割合	%	小学校5年生 80.3 中学校2年生 76.5	小学校5年生 78.4 中学校2年生 77.4	D	小学校5年生 83.0 中学校2年生 82.3

## 評価・課題

- 小・中学校の1,000人あたりの不登校児童生徒数は、25.0人で、全国平均31.7人と比べかなり少ない状況であり(少ない方から4番目)、病気以外で休めばまず電話連絡、次に家庭訪問、その次にチーム対応を基本とする対応は、一定の成果をあげている。

## 今後の展開

- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどチーム学校の専門家の一層の活用を図り、学校の教育相談体制を充実するとともに、校内サポートルームを設置する学校を引き続き研究指定校とし、不登校傾向の児童生徒への効果的な支援を研究していく。

### 3 インターネットの適正利用とネット・ゲーム依存予防対策の推進

#### 令和5年度の主な取組み・実績

##### ネット・ゲーム依存予防対策の推進

- ・ ネット・ゲーム依存について自分のこととして児童生徒に考えさせるとともに、家庭でのルールづくりを推進するため、保護者への啓発を目的とした「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」を配布

##### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
15	「携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか」との質問に、「守っている」または「どちらかといえば守っている」と回答した児童生徒の割合	%	小学校5年生 72.5 中学校2年生 60.6	小学校5年生 68.9 中学校2年生 61.8	D	小学校5年生 75 中学校2年生 66

##### 評価・課題

- 「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」を活用し、家庭でのスマートフォン利用について話し合う機会につなげた。

##### 今後の展開

- 児童生徒が自らスマートフォン等の使用時間等を振り返り、ルールづくりについて家族と話し合えるようにするため、ネット・ゲーム依存予防対策のための学習シートの作成及び小・中学校、高校等への配付を継続して行っていく。各学校においては、学習シートを夏休み前のホームルームや保護者懇談会等で児童生徒や保護者に配付し、説明するとともに、夏休み後の振り返りに活用する。

## 1 体力づくりの推進

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 体力づくり活動の推進

- ・ 日常的に体を動かす機会の減少や、基本的な生活習慣の乱れなどにより、子どもの体力や運動能力の低下が課題となっていることから、外遊びを通して体力向上の取組みにつなげる「あそびンピック in Kagawa」に加え、日常の取組みを得点化して学校間で競い合う「Kagawa2023 体力番付」を実施

#### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
16	全国体力・運動能力調査の体力合計得点の全国順位の平均	位	27 (R元年度)	26	C	20以内

#### 評価・課題

- 本県の体力合計点の全国順位は、小・中学生の男女とも調査開始以降、最も低かった令和4年度の値を上回っており、体力・運動能力の向上の兆しが見られている。

#### 今後の展開

- 「あそびンピック in Kagawa」や「Kagawa2023 体力番付」を中心に、小学校段階からの「運動の日常化」に向けた取組みを推進することで、体力向上をめざす。

## 2 健康教育の推進

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 学校全体で行う健康教育の推進

- ・ 養護教諭、栄養教諭、体育教諭等の研修会において、児童生徒の健康課題の現状を提示し、学校全体での取組みが進められるよう支援

#### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
17	肥満傾向児童生徒の出現率の平均 (各学校の出現率5年間平均)	%	小学校 7.76 中学校 9.27 高校 10.11 (H28～R2年度の平均)	小学校 9.19 中学校 10.36 高校 10.54 (R1～R5年度の平均)	D	現状からの減少

#### 評価・課題

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、生活習慣の乱れ等が原因となって体力の低下傾向が見られる。また、心の健康問題、アレルギー疾患、感染症、性に関する問題などの多様化する現代的健康課題に対応するため、保健主事がリーダーシップを発揮するとともに、養護教諭の専門性を生かし、学校教育全体を通して、健康教育を推進していく必要がある。

#### 今後の展開

- 児童生徒の血液検査や生活習慣調べ等の結果に基づき、担任や養護教諭、栄養教諭、学校医等が連携し、児童生徒の発達段階に応じた健康相談や保健指導の充実を図るとともに、幼児期からの栄養、健康に関する取組みや、日常的に運動に親しみ、楽しみながら体力の向上を図る取組みを推進する。

### 3 食育の推進

#### 令和5年度の主な取組み・実績

##### 学校教育全体を通じて行う食に関する指導

- ・ 食に関する指導を中心的に行う給食主任、食育担当教諭、栄養教諭・学校栄養職員等に対し、学校における食育の実践的な取組みを推進するための研修を実施

#### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
18	栄養教諭・学校栄養職員による教科等における食に関する指導を行っている割合	%	小学校 96.0 中学校 79.1	小学校 95.3 中学校 90.5	C	小学校 100 中学校 100

#### 評価・課題

- ICTを活用した食に関する指導の実践も進んできており、より効果的な食育指導の在り方を研究していく必要がある。

#### 今後の展開

- 食育指導については、各学校において、学校規模や地域等の実情に応じた取組みを進めるとともに、その取組事例を全体に共有していくことで、組織的な食育指導を推進する。

## 1 郷土に誇りを持つ教育の推進

## 令和5年度の主な取組み・実績

## ふるさとに誇りを持つ教育の推進

- ふるさとの名所や名産品を題材にした「ZUTT MOTT ふるさと（ワークショップ）」を県内2地域において実施

## 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
19	「今住んでいる地域(香川県)の歴史や自然、産業について関心がありますか。」との質問に、「ある」または「どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合	%	小学校5年生 66.4 中学校2年生 44.3	小学校5年生 68.3 中学校2年生 42.2	C	小学校5年生 68.7 中学校2年生 53.2

## 評価・課題

- 令和5年度から、ふるさとのよさを学ぶ体験型イベントを開始し、7月は観音寺市、11月はさぬき市で実施した。あわせて160名ほどの親子連れが参加し、親子でふるさとのよさについて話し合う姿が見られた。

## 今後の展開

- 今後ともふるさとのよさを学ぶ体験型イベントを継続し、郷土の良さに親子で触れることができる体験の場を提供していく。

## 2 社会に参画する力の育成

## 令和5年度の主な取組み・実績

## 消費者教育等の充実

- 高校生向け消費者教育教材「社会への扉-12のクイズで学ぶ自立した消費者-」（消費者庁作成）の活用や、関係機関等の実務経験者等との連携など、児童生徒が消費者として主体的に適切な意思決定ができる学習を充実

## 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
20	外部の関係機関から講師を招聘して主権者教育や消費者教育、金融教育等の取組みを行っている県立高校の割合	%	62.1	72.4	C	100

## 評価・課題

- 新学習指導要領では家庭科で将来に備えた資産形成について考え、金融サービスのメリット・デメリットやリスク管理についても効果的に学習できる指導方法の充実に努める必要がある。

## 今後の展開

- 教員自身が金融リテラシーを高め、生徒に適切な金融教育ができるよう、金融庁や銀行などの関係各所が実施している研修や出前講座などを活用し、授業内容の充実に努める。

### 3 キャリア教育の推進

#### 令和5年度の主な取組み・実績

##### 地域との連携の推進

- ・ 企業等との連携による商品開発を実施

#### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
21	「総合的な探究の時間」や「課題研究」の授業などで、地元の自治体や大学、企業等と連携した取組みを行っている県立高校の割合	%	79.3	100	A	100

#### 評価・課題

- 地域の企業と連携して、新製品の開発や販売を行うことで、郷土の産業や技術を学び、郷土をより良くしていこうとする態度を育成している。

#### 今後の展開

- 郷土をより良くしていこうとする態度を引き続き育成するため、学校と地域企業との取り組み内容や成果を共有し、情報発信することで、その普及を図る。



## 1 グローバル人材の育成

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 国際理解教育の推進

- 「魅力あふれる県立高校推進事業コネクティングスクール」である高松高校、高松商業高校による「グローバル社会への対応」に関する資質・能力の育成をめざした教育プログラムの実践研究

#### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
22	生徒が英語を用いた言語活動を、授業の半分以上において行っている公立高校の教員の割合	%	69.3 (R元年度)	59.5	D	80

#### 評価・課題

- 県立高校における指定校では、探究的な学びの視点に立った効果的な学習活動が行われた。

#### 今後の展開

- 「魅力あふれる県立高校推進事業コネクティングスクール」2校の指定等による、「グローバル社会への対応」に関する資質・能力の育成をめざした取組みの他校への普及を図っていく。

## 2 課題解決能力の育成

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 課題解決型学習の推進

- 「魅力あふれる県立高校推進事業コネクティングスクール」である小豆島中央高校、飯山高校による「イノベーション創出力」に関する資質・能力の育成をめざした教育プログラムを実践研究

#### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
23	課題解決型学習の推進に向けての校内研修を実施している県立高校の割合	%	34.5	51.7	C	100

#### 評価・課題

- 関係校と連携して実施した研究成果をふまえ、作成した課題解決能力の育成の在り方に関する手引書を用いて、課題解決能力の育成の在り方について具体的な理解を深めた。

#### 今後の展開

- 課題解決能力の育成の在り方について、実践事例を蓄積するとともに、全県的な普及を図る。

## 1 学校の安全・安心の強化

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 防災教育の充実

- ・ 学校（園）の防災体制整備及び防災教育の充実を図るため、危機管理マニュアルや防災教育等への助言、より実効性のある避難訓練に対する助言等を行う学校防災アドバイザーを派遣

### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
24	学校安全に関する外部の専門家や学校教育の専門家との連携を図るなど、学校安全計画や避難訓練等を外部有識者がチェック・助言する体制が整備されている学校の割合	%	41.6 (H30年度)	76.2	A	60

### 評価・課題

- 地震発生を想定した避難訓練を実施している学校の割合は、どの校種とも100%であった。

### 今後の展開

- 地震発生を想定した避難訓練については、地域や関係機関と連携したより実効性のある訓練となるよう継続的な働きかけを行うとともに、危機管理マニュアルの見直しに向けた指導を充実していく。

## 2 学校施設等の整備、充実

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 県立高校の施設、設備の整備

- ・ トイレの洋式化を実施（高松西高校など5校）

#### 特別支援学校の施設、設備の整備

- ・ 老朽化したトイレ、空調設備の改修を実施（香川東部支援学校、視覚支援学校）

### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
25	県立学校におけるトイレの洋式化の割合	%	県立中学・高校 60.6 特別支援学校 81.4	県立中学・高校 63.5 特別支援学校 85.9	A	県立中学・高校 65 特別支援学校 85

### 評価・課題

- 県立学校においては、トイレの洋式化や老朽化した校舎等の改築・改修等を計画的に進めていく必要がある。

### 今後の展開

- 香川県立学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に施設設備の改修を行う。

### 3 学びのセーフティネットの構築

#### 令和5年度の主な取組み・実績

##### 修学支援の充実

- ・ 経済的な理由で修学が困難な生徒等に対し、奨学金の貸付を実施
- ・ 基準所得を下回る世帯の高校生に対し、授業料に充てるための高等学校等就学支援金を支給

#### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
26	経済的な理由で修学が困難な生徒等に対する奨学金の貸与	%	—	—	—	着実な実施

#### 評価・課題

- 経済的な理由により修学することが困難な生徒等に対し、奨学金の貸付を行うことにより、有為な人材の育成が図られている。
- 基準所得を下回る世帯の高校生に対し、高等学校等就学支援金を支給することにより、教育費負担の軽減が図られている。

#### 今後の展開

- 経済的な理由で修学が困難な生徒等に対して、奨学金を貸与し、優秀な人材育成や安心して子どもを育てられる環境づくりに努める。
- 基準所得を下回る世帯の高校生に対する就学支援金や、非課税世帯等で高校生等のいる保護者等に対する奨学のための給付金を支給するなど、保護者の教育費負担の軽減に努める。

## 1 優れた教職員の確保と資質・能力の向上

## 令和5年度の主な取組み・実績

## 教育センターにおける教員研修等の充実

- ・ 初任者研修などの基本研修や希望参加の専門研修を中心に、現状の教育課題に対応した研修内容の精選と充実
- ・ 自主研修や校内研修用の教材を提供するオンライン研修サイトの充実（新規コンテンツ数 24、総アクセス数 7,705 件）

## 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
27	授業の内容がよく分かる／だいたい分かる」と回答した児童生徒の割合【再掲】	%	小学校5年生 73.1 中学校2年生 59.5	小学校5年生 68.5 中学校2年生 55.5	D	小学生 77 中学生 65

## 評価・課題

- 「香川県教員等人材育成方針」に示された香川の教員像と資質の向上に関する指標に基づいた「香川県教員研修計画」に沿って、体系的・効果的・効率的な研修を実施し、受講者評価も4段階で3.8と高かった。

## 今後の展開

- 教員の資質能力の向上のため、初任者への研修をはじめとする各種研修の精選と充実を図るとともに、学校のOJTの促進を図るため、教育センターのカリキュラムセンター機能をより一層充実していく。

## 2 学校における働き方改革の推進

## 令和5年度の主な取組み・実績

## 学校を支える専門スタッフの充実

- ・ 専門種目や勤務地の希望、学校からの配置希望などを勘案し、県立学校の教員に代わって部活動指導や大会等への引率を行う部活動指導員を配置（11校に各1名配置）

## 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
28	県立学校教職員の年次休暇の年間取得日	日	9.1	14.1	A	15以上

## 評価・課題

- 部活動指導員を配置した学校では、放課後の指導のみならず、生徒引率業務を任せられることで顧問の時間的負担が削減されるだけでなく、専門的な指導を補ってもらうことで、精神的な負担も軽減された。

## 今後の展開

- 部活動指導員を希望する学校が増えている。希望する学校全てに配置できるよう、部活動指導員の増員を行っていく。

## 1 地域と協働する学校づくりの推進

### 連携・協働の推進

- ・ 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の充実や地域学校協働活動推進員等の活用により、学校と地域住民や保護者等がビジョンや目標を共有して学校運営に参画する仕組みづくりを推進

### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
29	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」との質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	%	小学校 78.6 中学校 63.2 (R元年度)	小学校 83.6 中学校 71.9	A	小学校 83 中学校 68

### 評価・課題

- コミュニティ・スクールについては、県教育委員会主催による理解促進のための研修会等の取組みを進めており、本県における公立小・中学校におけるコミュニティ・スクールの導入率は、64.9%であり、全国平均を10pt以上上回っている。

### 今後の展開

- 現在コミュニティ・スクールが導入されていない学校については、学校と地域との連携を通して培われた協働体制を生かしながら、円滑に導入が進められるよう支援していく。

## 2 学校の特色化・魅力化の推進

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 魅力ある学校づくりの推進

- ・ 「魅力あふれる県立高校推進事業コネクティングスクール」として、「郷土への理解や郷土愛」「イノベーション創出力」「グローバル社会への対応」に関する資質・能力を、学校の特色を生かしつつ育成するための教育プログラムの実践研究を実施（6校）

### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
30	探究発表会（相当以上の発表会）に参加した県立高校数	校	14	20	A	19

### 評価・課題

- コネクティングスクールをはじめとする高校で、特色のある探究的な学びの実践とそれによる学校の魅力化・特色化の取組みが行われた。

### 今後の展開

- 「魅力あふれる県立高校推進事業コネクティングスクール」の研究成果を踏まえて、すべての県立高校における魅力化・特色化及び魅力の発信を推進する。
- 各学校による自校の取組みについてのホームページ掲載やパブリシティを積極的に実施するとともに、学校行事や地域と連携した活動を通じた効果的な情報発信を図る。

## 1 家庭の教育力の向上

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 親育ちのための学習機会の充実

- ・ 保護者がインターネット利用について考える学習会へ、さぬきっ子安全安心ネット指導員の派遣（37回実施、参加者約4,400名）（再掲）

### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
31	保護者学習会への「さぬきっ子安全安心ネット指導員」の派遣数(年度)	回	25	37	C	75

### 評価・課題

- 学校やPTAと連携を深め、保護者が集まる機会での講座、ワークショップや保護者同士が学び合う機会の提供に努めているが、保護者が集まる機会が減少し、学び合う場が少なくなっている。

### 今後の展開

- 保護者が集まる場を家庭教育の学習機会として活用するよう働きかけ、子どもの成長を実感したり、子どもの成長を促したりする関わり方等を学ぶ機会を提供する。
- 地域の多様な人材を活用したきめ細かな家庭教育支援を積極的に進めていく。

## 2 地域の教育力の向上

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 地域コーディネーター等の育成と関係団体の活性化

- ・ 各市町行政職員や地域コーディネーターを対象に「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に係る研修会」を開催（2回のべ111名参加）

### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
32	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」との質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合【再掲】	%	小学校 78.6 中学校 63.2 (R元年度)	小学校 83.6 中学校 71.9	A	小学校 83 中学校 68

### 評価・課題

- 地域学校協働活動やコミュニティ・スクールの趣旨や仕組みの理解が少しずつ進んできており、地域学校協働本部及び学校運営協議会の設置数も増加傾向にある。
- 既存の体制や組織を活用している地域学校協働本部が多く、活動の持続性や多様性に課題があるケースも見られる。

### 今後の展開

- 地域のさまざまな団体と連携を図り、子どもたちの多種多様な体験活動の促進・充実をより一層推進する。

## 1 子どもが読書に親しめる環境づくり

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 家庭における読書活動の推進

- ・ 保護者を対象に家庭での読み聞かせの大切さや、乳幼児期からの読書の重要性について伝える「親子読み聞かせ教室」を実施（17 幼稚園、16 保育園、6 認定こども園）
- ・ 「親子読み聞かせ教室」に派遣している読み聞かせアドバイザーを対象としたスキルアップ研修会を実施（参加者数 23 名）

### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5 年度実績	評価	R7 年度目標
33	親子読み聞かせ教室に参加した保護者の割合	%	61.2	58.3	D	76

### 評価・課題

- 幼稚園、保育所（園）、認定こども園の保護者を対象に、読み聞かせのコツや効用等について学ぶ教室を開催し、保護者の読み聞かせの必要性についての関心と理解を深めた。今後も継続して読み聞かせを実施する機会の確保に努める必要がある。

### 今後の展開

- 幼稚園、保育所（園）、認定こども園だけでなく、子育て支援センターにおいても「親子読み聞かせ教室」を実施し、より多くの保護者を対象に、家庭における読み聞かせの重要性を伝えていく。

## 2 生涯学べる環境づくり

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 県立図書館の充実

- ・ 本県の中核図書館として、県民の生涯学習活動や課題解決支援に必要となる新鮮で魅力ある蔵書の整備・充実を図るとともに、市町立図書館等を支援

### 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5 年度実績	評価	R7 年度目標
34	県立図書館の利用者数	人	463,054 人 (H29～R元年度の平均)	400,964 人	D	480,000 人

### 評価・課題

- 高齢化の進展と人口減少に加え、情報通信機器の急速な普及により、ウェブ上で簡単に情報が入手できるなど、県立図書館の利用者数の減少につながる要因があるなか、コロナ禍の収束にともなう生活行動の正常化などにより、昨年度の利用者数は 400,964 人となり、令和4年度より 31,015 人（対前年比 108.4%）増加した。

### 今後の展開

- 県立図書館においては、蔵書資料の充実など利用者ニーズに応じたサービスの提供に一層努めるとともに、子ども向けのおはなし会や各種企画展示、講演会、参加型イベントの開催など、利用促進に向けた取組みを積極的に進める。

## 1 生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくり

## 令和5年度の主な取組み・実績

## 総合型地域スポーツクラブの育成支援

- ・ 地域のスポーツリーダーが、スポーツをめぐる地域の現状と課題を把握し、その課題解決に総合型地域スポーツクラブが果たす役割について認識を深めるため、四国ブロッククラブネットワークアクション2023を実施

## 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
35	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	54.9 (R元年度)	53.2	D	65

## 評価・課題

- 総合型地域スポーツクラブは、令和5年度末時点で29のクラブが設立されているが、活動が滞っているクラブを整理し、クラブの数から活動の質の向上に注力する。

## 今後の展開

- 総合型地域スポーツクラブは地域住民のスポーツ参画の基盤であり、その担い手も地域住民であるため、市町と連携し、既存クラブの活動の質の向上を支援する。



## 1 トップアスリートをめざし、競技力を高めることができる環境づくり

## 令和5年度の主な取組み・実績

## トップアスリート育成のための支援

- ・ 国スポ正式競技である41競技の選手強化を図るため、県外遠征や強化合宿及び選手、指導者のレベルアップを目的とした優秀コーチ招聘等を実施
- ・ 将来国際舞台で活躍できるアスリートを育成するため、オリンピック種目に取り組む将来性豊かな中・高校生を指定して個別に強化

## 香川県教育基本計画に掲げている指標の現状と評価

番号	指標	単位	教育基本計画策定時(R2)	R5年度実績	評価	R7年度目標
36	オリンピック大会に出場した本県関係の選手数	人	2 (過去5大会の平均)	—	—	3 (R6年度)
37	国民体育大会男女総合成績	位	31 (H27～R元年度の平均)	29	A	20台

## 評価・課題

- かがわジュニア育成プランから育った本県出身選手が全国大会で活躍するなど、成果が上がっている。
- 特別国民体育大会(鹿児島)はコロナ禍前同様に開催され、目標の20位台に返り咲いた。

## 今後の展開

- 国スポに向けた強化事業等により育った本県出身選手が、さらにオリンピックなどの国際大会に出場・活躍できるよう、引き続き、トップアスリートの育成支援を継続していく。

## 8 文化資源の継承・充実と地域づくりへの積極的な活用

### 令和5年度の主な取組み・実績

#### 文化財の指定等

- ・ 「勝賀城跡」が国による史跡に指定
- ・ 「小豆島農村歌舞伎」が国による重要無形民俗文化財に指定（県指定無形民俗文化財「小豆島農村歌舞伎」は自動的に指定解除）
- ・ 「旧南原家住宅主屋」など4件が登録有形文化財建造物に登録

#### 文化財の活用

- ・ 個別の文化財保存活用計画の作成を支援（完成3件：紫雲出山遺跡、石清尾山古墳群、琴平町の大センダン、策定中6件：史跡津田古墳群・富田茶臼山古墳、引田城跡、讃岐遍路道志度寺境内、旧恵利家住宅、香川県庁舎旧本館及び東館、鍋島灯台）

### 「人生100年時代のフロンティア県・香川」実現計画に掲げている指標の現状と評価

指標	単位	現状	R5年度実績	評価	R7年度目標
国県指定の文化財数[累計]	件	14 (H28～R2年度)	4	C	15
文化財の保存活用計画と文化財保存活用地域計画の作成件数[累計]	件	7	10	A	12

### 評価・課題

- 指定・登録文化財は、平成27年に国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択され、令和元年に記録作成が完了した「小豆島農村歌舞伎」が国の重要無形民俗文化財、平成28年から調査を実施してきた「勝賀城跡」が国の史跡に指定されるなど、長期的な指定計画に基づく調査や国との調整等が着実に進められ、順調に指定・登録件数が増加している。
- 文化財の計画的な保存・活用を進め、地域づくりに活かすため、市町は文化財保存活用地域計画を策定する必要があるが、策定は小豆島町のみで留まっている。計画作成による国からの補助金や交付金の枠が広がる等のメリットを伝えるなど策定を支援しているが、進捗していない。令和6年度から実施する「かがわの文化財保全・活用応縁プロジェクト」では、市町が行う保存修理事業への県補助の要件に地域計画が策定済、または策定着手を加えるなど、策定促進を図る仕組みを整えた。

### 今後の展開

- 文化財の指定については、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた指定候補物件の調査計画を再調整するとともに、文化庁や県文化財保護審議委員、市町教育委員会や所有者と連携し、個々の物件の調査を着実に進める。
- 文化財の保存修理や活用に係る事業が、各市町において計画的、効果的に行うことができるよう、法定計画である保存活用計画や保存活用地域計画の策定を各市町に促し、また、地域づくりに貢献する取組みとして位置づけられるよう、市町内での連携を促す。

IV 「香川県教育基本計画」及び「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画」に掲げている数値目標に対する現状と評価

番号	項目	現状	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	評価 ※1	令和7年度の目標
<b>① 学力の育成</b>							
1	「授業の内容がよく分かる／だいたい分かる」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 73.1% 中学校2年生 59.5%	70.9% 60.5%	69.7% 57.5%	68.5% 55.5%	D	小学校5年生 77% 中学校2年生 65%
2	全国学力・学習状況調査における正答率40%未満の児童生徒の割合の全国平均との差	小学校6年生 -1.8pt (R元年度) 中学校3年生 0.0pt (R元年度)	-0.4pt 1.7pt	-1.8pt 2.2pt	-1.1pt 0.5pt	C	小学校6年生 -2.4pt 中学校3年生 -0.6pt
3	「読書は好きですか」との質問に、「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 79.7% 中学校2年生 74.0%	77.6% 71.2%	75.6% 67.4%	74.9% 66.0%	D	小学校5年生 82% 中学校2年生 75%
4	授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合	小学校 68.8% 中学校 59.2% 高校 85.4% 特別支援学校 70.5% (R元年度)	67.2% 58.0% 82.4% 67.8% (R2年度)	71.8% 62.9% 80.7% 66.7% (R3年度)	74.4% 63.3% 84.2% 82.6% (R4年度)	C	小学校 100% 中学校 100% 高校 100% 特別支援学校 100%
5	「英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか」との質問に「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	中学校 75.8% (R元年度)	80.8%	86.7%	84.0%	A	中学校 80%
6	幼小の円滑な接続に向け、接続期のカリキュラムを検討する研修会に参加した幼稚園の割合	20.5%	49.4%	57.1%	67.6%	A	80%
7	通常の学級に在籍する、障害のある児童生徒などのうち、特別な支援を必要とする児童生徒※の中で、「個別の指導計画」が作成されている割合※通級による指導対象者を除く	小学校 37.3% 中学校 11.0%	41.1% 18.2%	47.1% 9.5%	47.6% 15.3%	C	小学校 60% 中学校 50%
8	異校種の児童生徒を対象とした交流事業を行っている県立高校の割合	24.1%	24.1%	48.3%	55.2%	A	50%
<b>② 心の育成</b>							
9	「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」との質問に、「思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 77.2% 中学校2年生 76.1%	76.6% 75.3%	76.4% 75.5%	75.5% 74.9%	D	現状を上回る水準
10	「自分には、よいところがあると思いますか。」との質問に、「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 71.2% 中学校2年生 66.4%	66.4% 67.9%	68.7% 68.3%	69.6% 70.6%	C	小学校5年生 72% 中学校2年生 67%
11	「本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」との質問に、月に1～3回以上と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 71.9% 中学校2年生 33.1%	69.8% 34.5%	67.0% 31.8%	65.0% 31.1%	D	小学校5年生 76% 中学校2年生 38%
12	人権・同和教育教職員ハンドブックを活用して校内研修を行った学校の割合	50.8%	65.9%	61.2%	88.3%	A	100%
13	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」との質問に、「思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 86.9% 中学校2年生 82.5%	84.9% 82.2%	81.7% 78.6%	81.0% 79.6%	D	現状を上回る水準
14	「学校に行くのは楽しいと思う。」に「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 80.3% 中学校2年生 76.5%	78.7% 75.7%	78.1% 75.2%	78.4% 77.4%	D	小学校5年生 83.0% 中学校2年生 82.3%
15	「携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか」との質問に、「守っている」または「どちらかといえば守っている」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 72.5% 中学校2年生 60.6%	72.0% 61.8%	70.6% 62.3%	68.9% 61.8%	D	小学校5年生 75% 中学校2年生 66%
<b>③ 体の育成</b>							
16	全国体力・運動能力調査の体力合計得点の全国順位の平均	27位 (R元年度)	26.5位	35位	26位	C	20位以内
17	肥満傾向児童生徒の出現率の平均(各校種の出現率5年間平均)	小学校 7.76% 中学校 9.27% 高校 10.11%	8.15% 9.41% 10.11%	8.63% 9.90% 10.34%	9.19% 10.36% 10.54%	D	現状からの減少
18	栄養教諭・学校栄養職員による教科等における食に関する指導を行っている割合	小学校 96.0% 中学校 79.1%	94.0% 92.3%	92.0% 89.1%	95.3% 90.5%	C	小学校 100% 中学校 100%
<b>④ 郷土を愛し、郷土を支える人材の育成</b>							
19	「今住んでいる地域(香川県)の歴史や自然、産業について関心がありますか。」との質問に、「ある」または「どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 66.4% 中学校2年生 44.3%	71.4% 46.6%	68.7% 44.2%	68.3% 42.2%	C	小学校5年生 68.7% 中学校2年生 53.2%
20	外部の関係機関から講師を招へいで主権者教育や消費者教育、金融教育等の取組みを行っている県立高校の割合	62.1%	41.4%	52.1%	72.4%	C	100%
21	「総合的な探究の時間」や「課題研究」の授業などで、地元の自治体や大学、企業等と連携した取組みを行っている県立高校の割合	79.3%	100%	83%	100%	A	100%
22	生徒が英語を用いた言語活動を、授業の半分以上において行っている公立高校の教員の割合	69.3% (R元年度)	53.8%	47.5%	59.5%	D	80%
23	課題解決型学習の推進に向けての校内研修を実施している県立高校の割合	34.5%	37.9%	44.8%	51.7%	C	100%

番号	項目	現状	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	評価 ※1	令和7年度の目標
<b>⑤ 安全・安心で、魅力あふれる学校づくり</b>							
24	学校安全に関する外部の専門家や学校教育の専門家との連携を図るなど、学校安全計画や避難訓練等を外部有識者がチェック・助言する体制が整備されている学校の割合	41.6% (H30年度)	71.8%	73.1%	76.2%	A	60%
25	県立学校におけるトイレの洋式化の割合	県立中学・高校 60.6% 特別支援学校 81.4%	62.8% 83.8%	63.5% 85.1%	64.4% 85.9%	A	県立中学・高校 65% 特別支援学校 85%
26	経済的な理由で修学が困難な生徒等に対する奨学金の貸与	—	—	—	—	—	着実な実施
27	「授業の内容がよく分かる／だいたい分かる」と回答した児童生徒の割合【再掲】	小学校5年生 73.1% 中学校2年生 59.5%	70.9% 60.5%	69.7% 57.5%	68.5% 55.5%	D	小学校5年生 77% 中学校2年生 65%
28	県立学校教職員の年次休暇の年間取得日数	9.1日	11.8	12.1日	14.1日	A	15日以上
29	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」との質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	小学校 78.6% 中学校 63.2% (R元年度)	80.6% 59.1%	77.1% 58.2%	83.6% 71.9%	A	小学校 83% 中学校 68%
30	探究発表会(相当以上の発表会)に参加した県立高校数	14校	15校	19校	20校	A	19校
<b>⑥ 家庭や地域での学びの環境づくり</b>							
31	保護者学習会への「さぬきっ子安全安心ネット指導員」の派遣数(年度)	25回	12回	23回	37回	C	75回
32	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」との質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合【再掲】	小学校 78.6% 中学校 63.2% (R元年度)	80.6% 59.1%	77.1% 58.2%	83.6% 71.9%	A	小学校 83% 中学校 68%
33	親子読み聞かせ教室に参加した保護者の割合	61.2%	65.9%	64.6%	58.3%	D	76%
34	県立図書館の利用者数	463,054人 (H29～R元年度の平均)	409,783人	396,949人	400,964人	D	480,000人
<b>⑦ スポーツの振興</b>							
35	成人の週1回以上のスポーツ実施率	54.9% (R元年度)	52.5%	52.5%	53.2%	D	65%
36	オリンピック大会に出場した本県関係の選手数	2人 (過去5大会の平均)	7人	—	—	—	3人 (R6年度)
37	国民体育大会男女総合成績	31位 (H27～R元年度の平均)	中止	36位	29位	A	20位台

※【評価対象が複数ある場合の評価方法】指標の評価を、A:4点、B:3点、C:2点、D:1点と換算し、その合計を指標数で除して算出

『『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画』に掲げている 数値目標に対する現状と評価

項目	現状	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	評価	令和7年度の目標
国県指定の文化財数[累計]	14 (H28～R2年度)	1	2	4	C	15
文化財の保存活用計画と文化財保存活用地域計画の作成件数[累計]	7件	4件	7件	10件	A	12件

## V 報告書の公表

報告書は、教育委員会事務局総務課、各教育事務所、県民室、各県民センターに備え付けるほか、県教育委員会Webサイトにおいて公表する。

(参考) 令和5年度に策定した計画(プラン)

計画(プラン)の名称	URL
香川県学校教育情報化推進計画	<a href="https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/gimukyoyoku/ict/202312_keikaku.html">https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/gimukyoyoku/ict/202312_keikaku.html</a>

令和6年度

教育委員会の事務の管理及び執行の

状況の点検及び評価に関する報告書【概要版】(令和5年度対象)

**郷土を愛し 夢と志を持って 自ら学び 歩み続ける人づくり**

**～自立・協働・創造を支える香川の教育～**

香川県教育委員会